

平成27年10月26日(月)

国土交通省関東地方整備局



高崎河川国道事務所

記者発表資料

「群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」を開催します ～渋滞対策及び交通安全対策について議論します～

国土交通省と群馬県は、県内の交通渋滞や交通事故対策について、様々な分野の方々からご意見を伺い施策に反映させることを目的として、平成17年に「群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」を設置し、改善の取り組みを行っているところです。

効果的な渋滞対策及び交通安全対策の実施に向けて、今後の対応方針等についてご意見を伺うため「第14回群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」を開催します。

日 時：平成27年10月28日(水) 10:00～11:30

場 所：高崎市栄町6-41 高崎河川国道事務所 4階会議室

議 事：【移動性向上】

- 渋滞対策の進捗状況確認
- 最新の交通状況による分析
- 渋滞対策箇所の効果確認
- 優先検討箇所の検討状況 等

【安全性向上】

- 事故ゼロプランの進捗状況
- 今後の事故ゼロプランの進め方
- 事故危険区間の追加区間 等

※ 当日の配付資料、議事要旨は、後日、高崎河川国道事務所ホームページに掲載する予定です。

報道機関の皆様へ

- ・本委員会の撮影は会議の冒頭まで（頭取り）とさせていただきます。
- ・会場の駐車場には限りがありますのでご了承願います。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000（代）

副 所 長 伏見 利行（ふしみ としゆき） 内線：204

【移動性向上関係】計画課長 関根 孝之（せきね たかゆき） 内線：261

【安全性向上関係】建設専門官 森田 信介（もりた のぶすけ） 内線：511

[高崎河川国道事務所ホームページ](#)

[高崎河川国道](#)

検索

群馬県における渋滞削減に向けた取り組み

群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会

あらまし

- 群馬県内の交通渋滞や交通事故対策について改善するための取組を「群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」※(以下「委員会」)において、継続的に行っております。
- 平成24年度は、道路利用者と委員会双方の意見を踏まえて、地域全体として実感している渋滞箇所を「主要渋滞箇所」として特定・公表しました。
- 平成25年度は、「主要渋滞箇所」への対応方針を公表しました。
- 平成26年度は、優先対策箇所の選定方法・考え方を提案し、「道路を賢く使う」観点での渋滞対策のあり方について検討しました。
- 平成27年度は、主要渋滞箇所における対策の進捗状況を確認し、最新データにより主要渋滞箇所の分析を行った上で、優先検討箇所を選定し、今後の対応方針について検討を進めてまいります。

H24.6 第9回委員会

H24.8 第10回委員会

H25.1 第11回委員会

H25.1 主要渋滞箇所の特定

H25.6 第12回委員会

対応方針の公表

H26.9 第13回委員会

H27.10 第14回委員会

取り組みの流れ

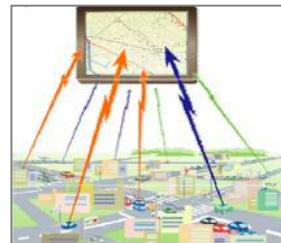
平成
24
年
度

素案の選定（委員会の意見）

- 客観的データに基づき、渋滞発生箇所を抽出
- 地域における交通特性を考慮した抽出方法を検討

最新のITS技術を有効活用

- 道路利用者の移動情報(プローブデータ)を収集・分析
- 速度低下等の道路交通状況を客観的かつ効率的に把握



「主要渋滞箇所」の特定

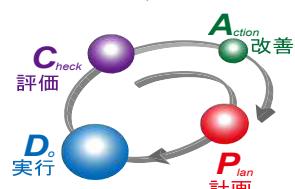
- 集中する渋滞箇所は、効率的に対策を実施できるよう、区間またはエリアに集約

平成
25
年
度

対応方針の検討

- 地域毎の概況や対策の基本的な方向性をとらえた上で、今後の渋滞対策の進め方について方向性を示す「対応の基本方針」を検討

今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから、主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。
(PDCAサイクル)



平成
26
・
27
年
度

主要渋滞箇所における渋滞対策の実施状況確認

最新データによる主要渋滞箇所の分析 対策済み箇所の効果確認

- 優先検討箇所の選定と対応方針を検討するにあたり、道路整備や道路改良などのハード的対策のみでなく、「道路を賢く使う」観点も踏まえ検討を行います。

優先検討箇所の選定

- 対策の実施状況を確認し、最新データによる主要渋滞箇所の分析をおこなった上で、優先検討箇所を選定し、今後の対応方針について群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会で議論

群馬県における交通安全の取組み

群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会

あらまし

- 平成22年において、近年下げ止まりの傾向があつた死傷事故件数・死傷事故者数を「選択と集中」、「市民参加・市民との協働」により重点的、集中的に対策を講じ、効果的、効率的に対策を推進することを目的に『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』として展開することになりました。
- 群馬県では、「群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」において、事故ゼロプランに関する継続的な審議を行っております。
- 平成22年度に、事故データ及び道路利用者等の声から、県内の交通事故等の課題を有する区間を、事故危険区間として抽出し、交通安全対策を進めています。
- 平成27年度は、平成22年から始まった事故ゼロプランの1巡目を総括するとともに、来年度から始める事故ゼロプランの2巡目の方針、第4次社会資本整備計画(平成27年度～平成32年度)における事故危険箇所の抽出方法などについて審議を行います。

H22.10 第7回委員会
【事故危険区間抽出・アンケート実施計画】

H22.10 県民アンケート

H22.12 第8回委員会
【アンケート結果報告・主な事故危険区間抽出】

H22.12 主な事故危険区間公表

H26.9 第13回委員会

H27.10 第14回委員会

取り組みの流れ

平成22年度

事故ゼロプラン方針確認

- 事故データ及び道路利用者等の声から事故危険区間を抽出することを確認

今後も事故危険区間の対策推進を行うとともに完了事業の効果評価、追加対策の検討についても進めて参ります。
(PDCAサイクル)

事故危険区間の抽出

事故危険区間

県民アンケート

主な事故危険区間の抽出

主な事故危険区間

主な事故危険区間の公表

事故ゼロプラン(1巡目)の総括

- 事故ゼロプラン開始から5年が経過
- 事故ゼロプランの1巡目(H22～H27)の事故危険区間について、事故対策の実施結果を総括

今後の事故ゼロプランの進め方

- 来年度から始める事故ゼロプラン(2巡目)の方針を確認
- 第4次社会資本整備重点計画における事故危険箇所の抽出



群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会 委員

委員長	前橋工科大学 教授
委 員	(社)群馬県商工会議所連合会
委 員	(一社)日本自動車連盟 群馬支部
委 員	(一社)群馬県トラック協会
委 員	(株)上毛新聞社 編集局
委 員	群馬テレビ(株) 報道制作局
委 員	(株)JTB関東 法人営業群馬支店
委 員	群馬県警察本部 交通部交通規制課
委 員	群馬県国土整備部 道路整備課
委 員	群馬県国土整備部 道路管理課
委 員	東日本高速道路(株) 関東支社高崎管理事務所
委 員	関東運輸局 群馬運輸支局
委 員	関東地方整備局 高崎河川国道事務所
オブザーバー	関東地方整備局 道路部
事務局	関東地方整備局 高崎河川国道事務所 計画課、道路管理二課 群馬県国土整備部 道路整備課、道路管理課

会場案内図

国土交通省高崎河川国道事務所

群馬県高崎市栄町6-41

電話 027-345-6000(代表)

